

◆2024年6月の新刊

日本キリスト教団出版局

「説教」に苦しみあえぐすべての人に贈る、深い慰めのメッセージ

月曜日の復活

「説教」終えて
日が暮れて

しおたになおや
塩谷直也 著

青山学院大学法学部教授、宗教主任。1963年宮崎市生まれ。幼少期は父親が会員であったカトリック宮崎教会に出席、国際基督教大学（ICU）にてプロテスタント信仰に触れ、1986年ICU教会（エキュメニカル）にて受洗（司式：古屋安雄）。卒業後、東京神学大学3年次編入、出席教会は日本キリスト教団高井戸教会（長老派）に。同大学院修士課程修了後、1992年より名古屋の中京教会（メソジスト）に籍を置き、知立伝道所設立に携わる。並行して金城学院中学校非常勤講師。1999年東京の梅ヶ丘教会（ホーリネス）に赴任。2008年より現職。

前編には説教を準備する上で著者が大切にしていることや、オンライン説教の作り方に関する文章を収録。後編は説教に苦闘する説教者が一週間で経験する心の動きを丹念に追った書き下ろし。著者独特のペーススが、説教に苦しむすべての人々にしみわたる。

四六判・並製・128頁・定価1,540円（本体1,400円＋税）

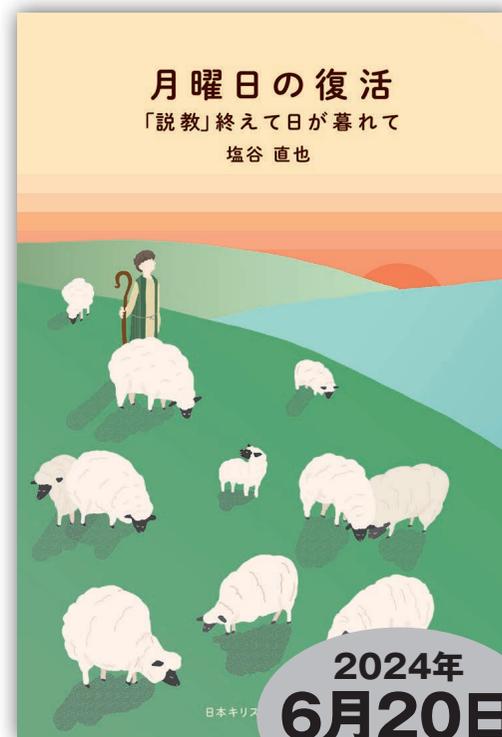
ISBN978-4-8184-1167-8 C0016

目次

はじめに 舞台裏の風景
前編
本物なら必ず伝わる、のか？
ハジマリはいつも子ども
「逃れる道をも備え」る教育
糸電話のごとく

コロナ後の説教の作り方
後編
金曜日の焦燥
土曜日の憂鬱
日曜日の混乱
月曜日の復活

火・水・木曜日の道草
《補遺》説教 チョウジさんを覚えて
《黙想》投げられたボールはどこに私たちを向かわせるのか
終わりに



◆2024年6月の新刊

日本キリスト教団出版局

信仰生活ガイド 全8巻 《第2期第2回配本》

老いと信仰

やまぐちのりこ
山口紀子 編
日本基督教団更生教会牧師

2024年
6月25日
刊行予定

『信徒の友』記事を書籍化、信仰生活入門シリーズ第2弾

すべての人が経験する老い。人生の完成に向けたその道を、信仰の希望をもって生きていくための道案内。認知症や介護、高齢者施設、さらには葬儀の備えも含め、十数名の著者が多角的にわかりやすく説き明かす。教会の読書会などにもおすすめの一冊。

四六判・並製・128頁・定価1,540円（本体1,400円+税）

ISBN978-4-8184-1165-4 C0016

【第2期予定】『祈りのレッスン』発売中・定価1,540円 『苦しみの意味』2024年9月予定

【第1期発売中】『主の祈り』『十戒』『使徒信条』『信じる生き方』『教会をつくる』

各巻 定価1,430円



目次

年を重ねること

- 1 教会を支える高齢者の霊性……岡本知之
- 2 老いの稔り 小説と写真集から……服部祥子
- 3 置かれた場所で神さまと……内田 汎
詩 年輪、最上のわが、主よ ともに宿りませ

認知症と教会

- 1 聖書は人間をどう理解するか……小宮山剛
- 2 私として生きることを支える……山崎ハコネ

3 教会はどのように認知症と向き合っているか

- 1 牧師として……金田佐久子
- 2 牧師の家族として……取材・『信徒の友』編集部
- 4 父・長谷川和夫の今……南高まり
- 5 教会で認知症カフェ……二宮 忍

施設入所・介護

- 1 ケアマネジャーと考える
施設入所までのケーススタディ……奥村真奈美

2 肩の荷を下ろす 家族介護の五原則……林 義亜

3 高齢者と向かい合うときに大切なこと……内藤和栄

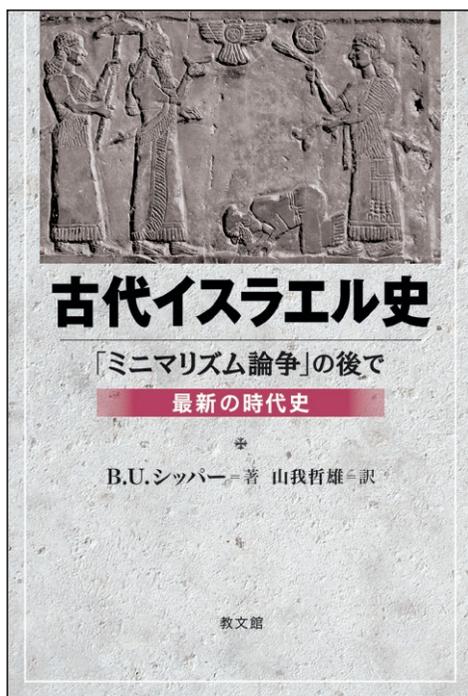
葬儀 復活の希望

- 1 キリスト者の葬り 悲しみと慰めと望みと……加藤常昭
- 2 遺言状を書こう 地上の生を生かされた信仰を言葉にして
……高倉田鶴子
- 3 心をつくして、神のもとに送る キリスト教葬儀の実際
……大澤秀夫

古代イスラエル史

「ミニマリズム論争」の後で：最新の時代史

B. U. シッパー 著 山我哲雄 訳



従来の歴史像を覆す新考察！

- ◆ 統一王国の分裂はなかった？
- ◆ 一神教とは無縁のユダヤ教があった？
- ◆ エルサレムよりも立派な神殿があった？
- ◆ バビロン捕囚の民はほとんど帰還しなかった？

旧約聖書の史料的价值を争った「ミニマリズム論争」と、オリエント世界の考古学的調査を経て激変した時代史研究の最前線を知る格好の入門書。

《著者紹介》ベルント・ウルリヒ・シッパー (Bernd Ulrich Schipper) … 1968年西ドイツ・ダルムシュタット生まれ。2010年よりベルリン・フンボルト大学神学部旧約学正教授。現任同学部学部長、国際旧約学学会 (IOSOT) 会長。
《訳者紹介》山我哲雄 (やまが・てつお) … 1951年生まれ。2022年まで北星学園大学経済学部教授。現任同名誉教授。著書に『旧約聖書における自然・歴史・王権』(教文館)ほか多数。訳書にO. ケール『旧約聖書の象徴世界』、K. シュミット『旧約聖書文学史入門』、M. ティリー／W. ツヴィッケル『古代イスラエル宗教史』(以上教文館)ほか多数。

ユダヤ教の祈り 祈禱文と解説

吉見崇一 編訳



ユダヤ教では、何を、どう祈っているのか。
世界各地で生まれ、伝承されてきた、
100を超える多様な祈禱文を紹介。
家庭や会堂の礼拝で唱えられる、神への感謝と賛美のことば。

「書物の民」といわれるユダヤ人は、神の言葉を学ぶことによって神への感謝の念がわき、神に対して言葉によって賛美します。聖書の言葉を自分の心からの言葉として告白する。それがシユマアの朗読となり、18連禱となったのです。ユダヤ教の礼拝は、神と向き合っ
て自分の行いを見直す大事な営みなのです。
本書は、こうしたユダヤの祈りの伝統と意義を教えてください。聖書の註解書を読むのとは一味違う神への向き合い方を、是非知ってください。イエスの主の祈りに対する新たな理解も、きっと生まれることでしょう。

市川裕氏（東京大学名誉教授）推薦！

《編訳者紹介》吉見崇一（よしみ・しゅういち）
1944年生まれ。1970-73年イスラエル各地のキブツに滞在。1978-82年エルサレム在住。ヘブライ大学旧約聖書学科に在籍、かたわらガイド業に従事。1986-2024年旅行業。
著書に『ユダヤ人の祭り』（エルサレム文庫）、『ユダヤの祭りと通過儀礼』『ユダヤ教小辞典』（共にリトン）、『イスラエルの旅』（共著、昭文社）。



北口沙弥香 [著]



ヨベル新書 097

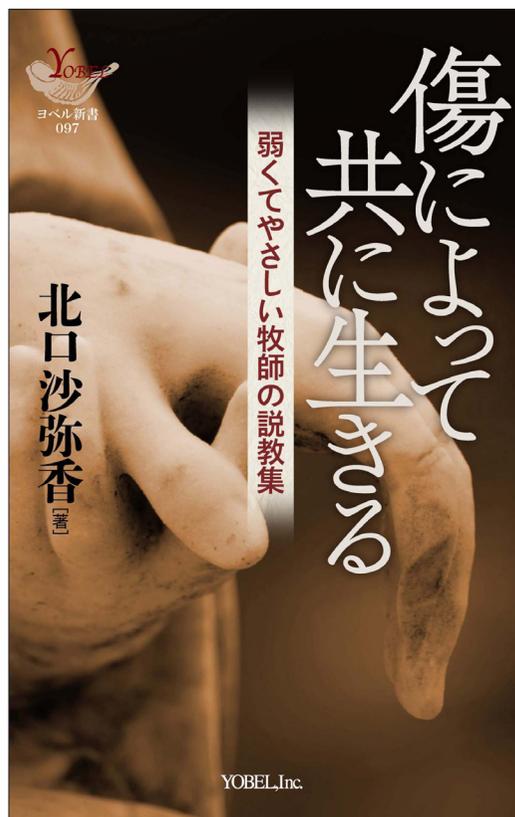
傷によって共に生きる

7月10日刊行予定

弱くてやさしい牧師の説教集

北口沙弥香 (きたぐち・さやか)

1984年北海道北見市生まれ。2003年札幌大学法学部法学科に入学。大学入学直後にキリスト教と出会い、大学4年の2006年イースターに日本キリスト教団 真駒内教会にて受洗。2007年大学卒業し、札幌の地で4年間フリーター生活を送る。2011年農村伝道神学校に入学、2015年卒業。卒業後、日本キリスト教団 なか伝道所に担任教師として赴任。同時に町田市の「重度訪問介護」(身体障がい者)の訪問介護事業所に就職し、牧師とヘルパーの二足のわらじの生活を始める。2018年日本キリスト教団 藤沢ペテル伝道所担任教師となる。同年6月日本キリスト教団 神奈川教区総会にて按手礼受領。2019年介護福祉士登録。2022年5月より日本キリスト教団 愛川伝道所主任担任教師就任。引き続き「牧師がヘルパーしている」実践を続けながら教会に励んでいる。リベラル・クリスチャン情報局「イクトッス・ラボ」メンバー。① 愛川伝道所 ホームページ <https://aikawa.ykwebinf.net/> ② イクトッス・ラボ ホームページ <https://ixthus.jp>



不肖の“師匠”富田正樹、大いに推す!

さーやんの説教を読むと、さーやんがいかに弱い者、不本意な生きづらさを抱えている者に寄り添おうとしているかがわかります。月なみな表現になりますが、さーやんは「優しい」です。その優しさで、これからも多くの人を癒やしてゆくのでしょうか。不肖な「師匠」である私のこともこれからも癒やしてください(笑)。

自分を何処に置くか、何処から見るかで まったく変わってくる福音書の風景!

自身の持っている傷、残り続ける傷によって互いに共感し、共に苦しみ、共に歩む。互いの傷によってわたしたちは響き合い、支え合い、愛し合うことができる。「セクシャル・マイノリティ」で「二足のわらじ稼業」の牧師による魂の説教集。

すいせんの言葉：
北口沙弥香さんと私 — 不肖の師匠より 富田 正樹

- 沈黙して救いを待ち望む (哀歌 3章 25 ~ 33 節)
- 傷によって共に生きる (ヨハネによる福音書 20章 24 ~ 29 節)
- マーゴイとしての牧者 (マタイによる福音書 2章 1 ~ 12 節)
- 神さまとケンカしに来ました。(創世記 32章 23 ~ 32 節)
- 行きたくないところへ (ヨハネによる福音書 21章 18 節)
- 人は裁くことはできない (ヨハネによる福音書 8章 1 ~ 11 節)
- キリスト教と自己犠牲 (マルコによる福音書 8章 31 ~ 38 節)
- 押しつけられた『ひとつ』からの解放 (使徒言行録 2章 1 ~ 12 節)
- 准允志願所信表明

- 喜びながら自分の道を歩く (使徒言行録 8章 26 ~ 40 節)
- 目の前のその人に必要な奉仕 (ルカによる福音書 10章 38 ~ 42 節)
- それでも太陽は昇る (マラキ書 3章 20 節)
- 教会が必要なくなるその日まで (エレミヤ書 31章 31 ~ 34 節)
- 神の業が、この人に (ヨハネによる福音書 9章 1 ~ 12 節)
- 天の国のための『宦官』 (マタイによる福音書 19章 10 ~ 12 節)
- 『沈黙』の父、ヨセフ (マタイによる福音書 1章 18 ~ 25 節)
- 人は助け合うようにつくられた (創世記 2章 18 ~ 25 節)
- 神の道義 (イザヤ書 58章 6 ~ 8 節)
- 記憶 (マタイによる福音書 1章 1 ~ 17 節)
- 悔い改めに必要な実を結べ (マタイによる福音書 3章 1 ~ 12 節)
- 羊は神の声を聴く (ヨハネによる福音書 10章 22 ~ 33 節)

新書判・244頁・定価 1,430円
1,300円 + 税 ISBN978-4-911054-21-5 C0216



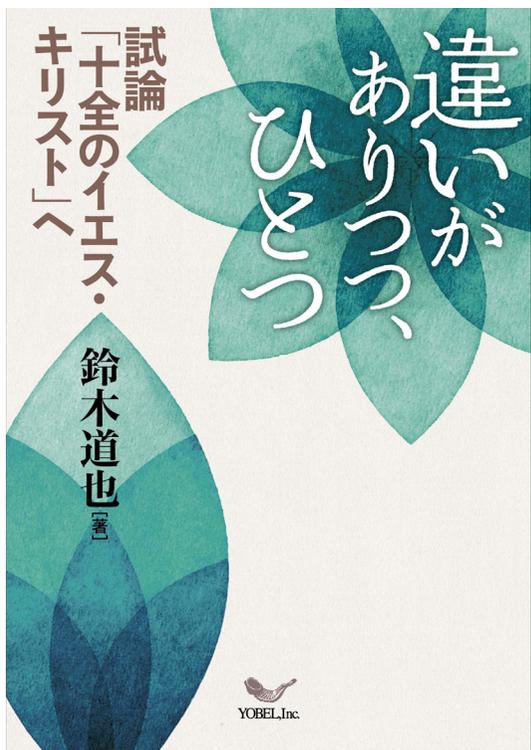
鈴木道也 [著] (日本基督教団 花巻教会牧師)

重厚で真摯な提言書!

違いがありつつ、ひとつ

試論「十全のイエス・キリスト」へ

2024年7月末刊行予定



A5判・予456頁・3,080円(税込)
本体2,800円+税 ISBN978-4-911054-22-2 C0016

「いずれのみ真か？」ではなく、
「いずれもまた真」でもなく。

ひとつに結び合わされ、初めて見えてくる聖書原風景!

聖書に生きる民によるキリスト教の歴史もまた、全体主義、排外主義の色合いを濃く帯びながら論争、分裂、騒擾を繰り返してきた。「違いがありつつ、ひとつ」という第三の道があるのではないか——。現職の一牧師が岩手・花巻から発信する現代人のための希望に満ちた神学!

[主な目次]

すいせんの言葉 小友 聡

第一部 違いがありつつ、ひとつ
～四福音書の相違と相互補完性

- 第1章 福音書に関する5つの疑問
- 第2章 四福音書の共通の土台、
四福音書の固有のキリスト像
- 第3章 マルコによる福音書のキリスト像
—— 生前 — 十字架のキリスト
- 第4章 マタイによる福音書のキリスト像
—— 十字架 — 復活のキリスト
- 第5章 ルカによる福音書のキリスト像
—— 復活 — 昇天のキリスト
- 第6章 共観福音書の小黙示録のキリスト像
—— 再臨のキリスト
- 第7章 ヨハネによる福音書のキリスト像

- 再臨=想起・現前のキリスト
- 第8章 違いがありつつ、ひとつ
—— 四福音書の相違と相互補完性

第二部 「十全のイエス・キリスト」へ
—— 伝統的な聖餐論と
開かれた聖餐論の相違と相互補完性

- 第1章 聖餐とは何か
- 第2章 現代の聖餐論議 —— 伝統的な聖餐論と開かれた聖餐論
- 第3章 「十全のイエス・キリスト」へ
- 第4章 今後の展望 —— 内住のキリスト像索引

あとがき

著者紹介 鈴木道也 (すずき・みちや)

1983年 京都府京都市生まれ。
2007年 北海道大学文学部卒業、2013年 東京神学大学大学院修士課程修了。
2013年より日本基督教団 花巻教会牧師 (主任担任教師)。日本神学研究センター、東北伝道協力会 会員。

大頭眞一 「焚き火を囲んで聴く神の物語・説教篇」シリーズ [全8冊]

栄光への脱出 — 出エジプト記

解説 ニューライフキリスト教会牧師、NPO法人 a cup of water 代表理事、モリユリ・ミュージック・ミニストリー理事、Leadership Builder Publication 代表 **豊田信行**



6月10日 重版出来予定

神はねたみ深く、民のうなじはコワイ。
この旅、とても他人事とは思えない。

3500年前の神の民の旅路は、世界的危機の時代に生きる私たちにとって無視できない鮮烈な表象に満ちている。脱出する、荒野をさまよう、約束の地をめざす、現代人の生き方にどう語るか、激闘するパスター・オオズ。

豊田信行 (ニューライフキリスト教会牧師)

本書は神の語りかけを深く、ゆっくりと、吸い込み、ゆっくりと吐き出された祈りの言葉で紡がれています。まさに祈禱書です。神の語りかけの言葉が大頭先生の魂のなかで祈りの言葉として紡がれていったことが分かります。私は注解書があまり好きではありません。内容は素晴らしいけれども、息を吐き出すように書かれた本は読み進めているうちに息苦しくなってしまう。深呼吸が先か、祈りが先か、どうでもいいようですが、実はとても大事なことです。

「出エジプトの時代も、神さまはすでに救いを始めておられました。」(本文より)

どんな窮地に陥っても、まず深呼吸する。神さまがすでに働いていてくださる事実をしっかりと受け止める。それから、大きく吸った息をゆっくりと吐きだす。魂のなかで紡がれた祈りの言葉が読者の祈りと共鳴するようになるでしょう。(解説より)

1960年神戸市生まれ。北海道大学経済学部卒業後、三菱重工に勤務。英国マンチェスターのナザレン・セオロジカル・カレッジ (BA, MA) と関西聖書神学校で学ぶ。日本イエス・キリスト教団香登教会伝道師・副牧師を経て、現在、京都府・京都信愛教会/明野キリスト教会牧師、関西聖書神学校講師。

主な著書:『聖書は物語る』(2013、2023[※])、『聖書はさらに物語る』(2015、2019[※])、共著:『焚き火を囲んで聴く神の物語・対話篇』(2017)、『アブラハムと神さまと星空と 創世記・上』(2019、2023[※])、『天からのほしご 創世記・下』(2020、2022[※])、『栄光への脱出 出エジプト記』(2021)、『聖なる神聖なる民 レビ記』(2021)、『何度でも 何度でも 何度でも 愛 民数記』(2021)、『えらべ、いのちを 申命記・上』(2022)、『神さまの宝もの 申命記・中』(2023)、『いのち果てるとも 申命記・下』(2023)、『聖化の再発見 ジバング篇』(2024以上ヨベル)、『焚き火を囲んで聴く神の物語・聖書信仰篇』(2021)、『焚き火を囲んで聴くキリスト教入門』(2023)、『牧師・大頭の焚き火日記』(2023)

主な訳書:マイケル・ロダール『神の物語』(日本聖化協会出版委員会、2011、2012[※])、マイケル・ロダール『神の物語 上・下』(ヨベル新書、2017)、英国ナザレン神学校著『聖化の再発見 上・下』(共訳、2022)

主な目次

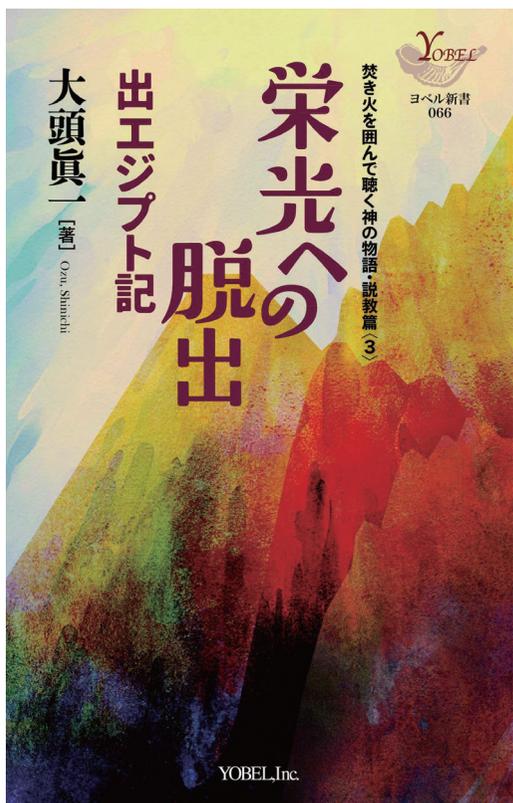
- 「贈る言葉」 登戸学寮長、北海道大学名誉教授 千葉 恵
- 叫びを聞く神
- 使命に生きるために
- 栄光への脱出
- ともに重荷をになうために
- 神と人を愛するために
- 神でない神を拝まないために
- 私たちの同行者
- 千代に及ぶ祝福
- 主の栄光が満ちて
- 解説 …… 豊田信行
- 協力者の方々のプロフィール
- あとがき …… 大頭眞一 楽譜/書評

焚き火を囲んで聴く神の物語・説教篇

全8冊内訳 2023年全巻完結!

新書判・192頁～256頁 各巻本体1,100円(税別表示)

- 1 アブラハムと神さまと星空と — 創世記・上 — (3版 好評既刊)
- 2 天からのほしご — 創世記・下 — (2版 好評既刊)
- 3 栄光への脱出 出エジプト記 (2版 好評既刊)
- 4 聖なる神の聖なる民 レビ記 (2版 好評既刊)
- 5 何度でも何度でも何度でも 愛 民数記 (2版 好評既刊)
- 6 えらべ、いのちを 申命記・上 (好評既刊)
- 7 神さまの宝もの 申命記・中 (好評既刊)
- 8 いのち果てるとも 申命記・下 (好評既刊)



YOBE 新書 066

新書判・192頁・定価1,320円 税込
本体1,200円+税 ISBN978-4-909871-44-2 C0216



大貫 隆 [著] 東京大学名誉教授
古代キリスト教思想史

原始キリスト教の「贖罪信仰」の起源と変容

NHK 第二ラジオ「宗教の時間」
6/30、7/7「異端研究の意義 — キリ
スト教信仰の核心を求めて」というタイ
トルでオンエアされます。

重版
決定!

好評 既刊



復活前と現在の「地平」が「融合」する
ヨハネ福音書の重案構造を解明！
ブルトマン・ライオン・バクスター……種々ある福音学の領域による
解明で定説を揺るがして来たヨハネの全体的なコト・事柄の
根柢を捉えていた福音書研究への気づき……この視座から捉え
直して見えてくる新たな地平の融合とは、YOBEL Inc. 著 2,500円

四六判上製・240頁・定価1,980円
本体1800円＋税 在庫僅少
ISBN978-4-909871-72-5 C0016



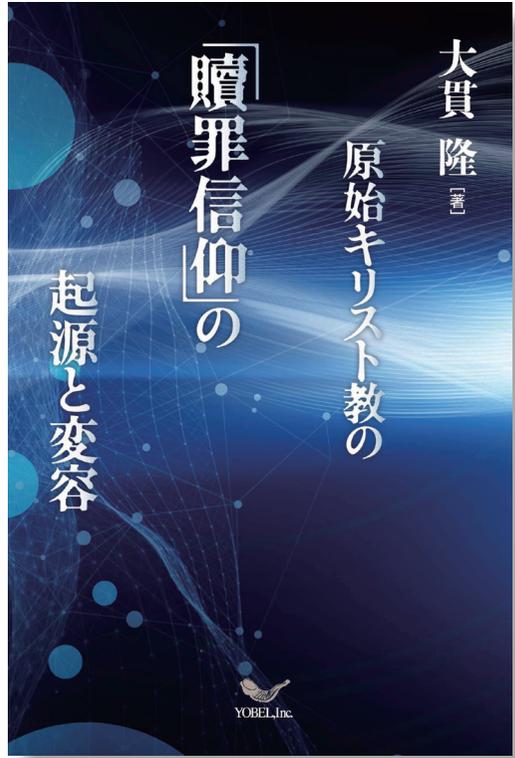
拾遺——今まで編み落ちてしまっていたものを集めて解くこと、
これほど似つかない言葉があろうか。
グノーシス主義の歴史は新約聖書研究によって学問的・不可欠な関係に
あるものの、近年から日本のグノーシス研究を大きく牽引してきた著者が、
グノーシス主義の歴史をめぐって、その歴史の真相をグノーシス主義の
精神までを捉えてつづらき、グノーシス研究の歩行に足ら
なかった欠片を拾い集めた博覧の書。YOBEL Inc. 著 2,500円

四六判上製・368頁・定価2,750円
本体2500円＋税 在庫僅少
ISBN978-4-909871-88-6 C0016

贖罪信仰そのものが、いまだ議論と
再検証の卓上に置かれている！

6月25日重版予定

田中健三氏評 (上智大学神学部講師)：本書は原始キリスト教の力動的な伝播を知ることができるものであり、日本の諸研究者の紹介と批判からは、著者の誠実な研究姿勢が感じられる。(本のひろば 2023.11月号)
澤村雅史氏評 (名古屋学院大学准教授)：人間が抱える存在の破れ、すなわち根源的エゴイズムへの気づきであることを明らかにする。「贖罪信仰」を多義性の呪縛から贖う。週刊読書人 2024.3月8日号)



- 主な目次
はじめに
I 原始エルサレム教会の成立からペトロの指導権時代
一 イエスの死の必然性の論証／二 「人の子」イエスの再臨待望との関わり／三 イエスの死の救済論的・贖罪論的解釈／四 贖罪信仰の成立と定式化
1 | コリント書一五章3節bの「キリスト」について／2 | コリント書一五章3節b-7節はペトロの「文責」
五 贖罪論の広がり
II 主の兄弟・義人ヤコブの指導権時代
一 ヤコブの年譜／二 ヤコブの救済論 = 律法の実行による救い
1 | ヘゲシッポス『覚え書』／2 | エイレナイオス『異端反駁』／3 | ヒッポリュトス『全異端反駁』／4 | エピファニオス『薬籠』／5 | ペトロの宣教集』／6 | まとめ

- III 原始教団のエルサレム脱出とその後のユダヤ主義キリスト教の展開
一 原始エルサレム教会のペラへの脱出／二 神殿倒壊予言の二度目の再活性化／三 その後の影響史・ユダヤ主義キリスト教の諸分派
1 | ナゾラ派／2 | エピオン派／3 | エールケサイ派／4 | 『ペトロの宣教集』から『ペトロの講話集』へ
四 ユダヤ主義キリスト教のまとめ
IV 補論
一 マタイ福音書／二 ヨハネ福音書
1 | ヨハネ福音書の成立地=アグリッパII世の領国のバタネア地方／2 | 新しい論拠(a)「ヨルダンの向こうのベタニア」(ヨハ28)とは何処のことか／(b) R・リースナー(Riesner)のテーゼ=バタネア地方のこと
3 | 洗礼者ヨハネの弟子団との競合・沐浴運動との接点／4 | 伝承史の系譜／5 | まとめ

- 三 マンダ教団
1 | マンダ教徒とその聖文書／2 | 「ナザレ人イエス」と「ナゾラ人イエス」／3 | エルサレム脱出以後のユダヤ主義キリスト教との関係／(a) ナゾラ派／(b) エピオン派／(c) エールケサイ派／(d) 『ペトロの宣教集』／4 | まとめ／5 | コーランの中の「サバ人」——結びにかえて
V 結び：贖罪信仰の起源と変容
VI 「贖罪信仰」をめぐる現代の議論によせて
一 「罪の贖い」と「苦難の贖い」の区別／二 「罪」の定義の変容／三 「贖罪信仰」の教理化が孕む問題／四 現実性全体の根源への問い／五 補論 神も途上に・再考
【追記】
あとがき／引照箇所索引／研究者名索引／参考文献

著者紹介 大貫 隆 (おおぬき・たかし) 1945年静岡県浜松市生まれ。1968年一橋大学卒業、1972年東京大学大学院人文科学研究科西洋古典学専攻修士課程修了、1979年ミュンヘン大学神学部修士・神学博士、1980年東京大学大学院博士課程(前記)単位取得退学、東京女子大学専任講師、1991年東京大学教養学部助教授、2009年同名誉教授、自由学園最高学部長(—2014年)。主な著作：『世の光イエス — ヨハネ福音書のイエス・キリスト』(1984年、改訂増補版、1996年)、『福音書と伝記文学』(1996年)、『ロゴスとソフィア — ヨハネ福音書からグノーシスと初期教父への道』(2001年)、『聖書の読み方』(2010年)、『終末論の系譜 — 初期ユダヤ教からグノーシスまで』(2019年)、『イエスの「神の国」のイメージ — ユダヤ主義キリスト教への影響史』(2021年)、『ヨハネ福音書解釈の根本問題 — ブルトマン学派とガダマーを読む』(2022年)、『グノーシス研究拾遺 — ナグ・ハマディ文書からヨナスまで』(2023年) 著訳書多数。

四六判上製・304頁・定価2,200円
本体2,000円＋税 ISBN978-4-909871-94-7 C0016



金子晴勇 [著] (ヨーロッパ思想史) [全7巻別巻2]

全7巻別巻2完結!
新書判・平均272頁・1,320円(税込)



ヨobel新書 065

キリスト教思想史の諸時代 II

アウグスティヌスの思想世界

[第2刷]

2024年7月5日再版出来予定

その中心思想を「不安な心」として捉え、「心の哲学」から「靈性」へと展開された軌跡をたどる。



本書は、わたしが青年時代から今日に至るまで追究してきたアウグスティヌスの「心の哲学」という主題をその靈性思想を含めて完成させたものです。大学に助手として勤め始めた頃、『共助』というキリスト教雑誌に「不安な魂の足跡を訪ねて——アウグスティヌスの生涯と思索から——」という論文を書きました。その中でアウグスティヌスの中心思想を「不安な心」として捉え、「心」の動態を三つの前置詞でもって示しました。このような些細な発見が、実は、生涯を通しての研究を導き、どのような成果をもたらしたかを本書は示しています。

わたしは先の初期論文で短く触れたことをその後も詳細に研究し続け、それから20年後に纏めた『アウグスティヌスの人間学』で「心の哲学」として発表しました。この研究はさらに「心」の深部にある「靈性」として継続され、五年ほど前に「アウグスティヌスの靈性思想」として一応完成しました。「心」についての最初の記述は10行ほどの短いものでしたが、それがその後の研究でどのように補われ、解釈が加えられ、根本思想として解明されていったかを本書は示しています。(「あとがき」より)

《主な目次》

- | | | |
|-----------------------------------|---|---|
| 1 古代末期の世界
「談話室」 古代末期かキリスト教古代か | 4 精神的発展と思想世界の形成
「談話室」 プラトン主義の受容と批判 | 6 心の機能としての靈性
「談話室」 「説教集」159における「靈的感覺」 |
| 2 不安な心の足跡を訪ねて
「談話室」 「とれ、よめ」の意味 | 5 思索の方法——信仰と理性の問題と神学的思索
「談話室」 「サマリアの女」についての説教に見られる「霊」と真理 | 7 ベラギウス批判と靈性の復権
「談話室」 アウグスティヌスの怒りと死の危険 |
| 3 心の対向性——『告白録』の「心の哲学」 | | 8 アウグスティヌスの影響
「談話室」 最晩年のアウグスティヌス |

全巻構成《全7巻別巻2完結!》

- I ヨーロッパ精神の源流 [再版]
- II アウグスティヌスの思想世界 [再版出来]
- III ヨーロッパ中世の思想家たち [既刊] 在庫僅少
- IV エラスムスと教養世界 [既刊]

- V ルターの思索 [既刊]
- VI 宗教改革と近代思想 [既刊]
- VII 現代思想との対決 [既刊]
- 別巻1 アウグスティヌスの靈性思想 [既刊]
- 別巻2 アウグスティヌス「三位一体論」を読む [既刊]

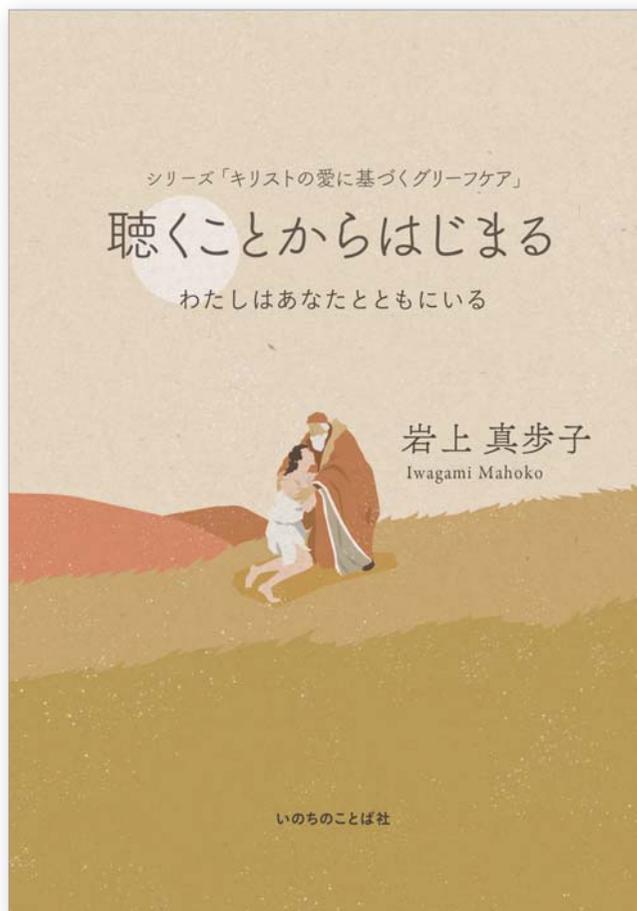
新書判・264頁・定価1,320円
本体1200円+税 ISBN978-4-909871-33-6 C0216

著者紹介 金子晴勇 (かねこ・はるお) 1932年静岡生まれ。1962年京都大学大学院博士課程中退。67年立教大学助教授、75年『ルターの人間学』で京大文学博士、76年同書で日本学士院賞受賞。82年岡山大学教授、1990年静岡大学教授、1995年聖学院大学客員教授。2010年退官。 主な著書:『ルターの人間学』(1975)『アウグスティヌスの人間学』(1982)、『ヨーロッパ人間学の歴史』(2008)、『エラスムスの人間学』(2011)、『アウグスティヌスの知恵』(2012)、『知恵の探求とは何か』(2013)、『キリスト教人間学』(2020)、『私たちの信仰』(2020)、『人文学の学び方』(2020)、『東西の靈性思想』(2021)、『「良心」の天路歷程』(2023) ほか多数 主な訳書:アウグスティヌス著作集第9巻(1979)、ルター『生と死の講話』(2007)、ルター『神学討論集』(2010)、エラスムス『格言選集』(2015)、C. N. コックレン『キリスト教と古典文化』(2018)、エラスムス『対話集』(2019) ほか多数

シリーズ「キリストの愛に基づくグリーフケア」

聴くことから始まる わたしはあなたとともにいる

岩上真歩子 著



話を聴くとは、ともにいること——人の話を聴くことなしに、相手の必要（ニーズ）は分からない。しかし、私たちはどれだけ相手の話を聴けているだろうか？ グリーフケアの土台となる「聴くこと」への取り組みを多くの実践例から具体的に学ぶ。聖書に根ざしたグリーフケアを学ぶシリーズ第2弾。

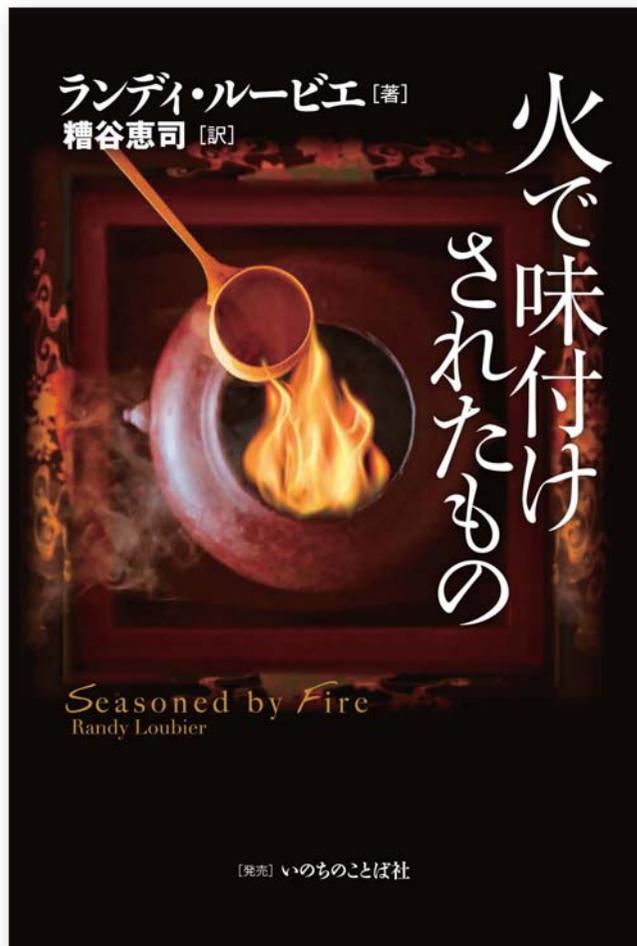
好評につき、前作『キリストの愛に基づくグリーフケア エマオの途上を主イエスと歩む』を再版準備中！

B6判 256頁 定価2,200円(本体2,000円+税)
ISBN978-4-264-04503-8 C0016
いのちのことば社 卸コード 09180

岩上真歩子 (いわがみ・まほこ)

米国・アズベリー神学大学院（神学修士 M.Div.）、英国・ナザレン神学大学院（神学修士 M.Th.）卒業。東京女子大学文学研究科心理学専攻博士前期課程修了。日本ホーリネス教団久喜キリスト教会主任牧師。心のケアミニストリー「タリタ・クム」代表。アジア福音同盟女性委員・子ども委員、D6 ジャパン・ディレクター。東京都立学校スクールカウンセラー。臨床心理士・公認心理師・社会福祉士。おもな著書に、前作『キリストの愛に基づくグリーフケア』、おもな訳書に、N・T・ライト著『ティンデル聖書注解 コロナサイ人への手紙、ピレモンへの手紙』、ロン・ハンター著『D6 教会と家庭をつなぐ次世代育成ミニストリー』（以上、いのちのことば社）がある

戦国時代を舞台にした物語と、現代人の物語が融合する、伝道冒険小説



火で味付けされたもの

ランディ・ルービエ 著
糟谷恵司 訳

本書は、過去と現在の二つの物語が交互に語られる伝道冒険小説。一つ目の物語の舞台は、キリスト教が伝えられた頃の東アジア。日本人のカイは、茶道文化を使った福音宣教の方法を伝授され、茶の苗を求めて渡った中国で迫害を受けながらも協力者を得ていく。もう一つの物語の主人公は、現代ドイツ人女性。彼女が中国で出会ったカイの末裔との交わりの中で聖書と出会い、2つの物語は融合していく。【いのちのことば社 協力出版】

四六判 240頁 定価1,980円(本体1,800円+税)

ISBN978-4-264-04493-2 C0016

いのちのことば社発売 ランディ・ルービエ発行

卸コード 802287

ランディ・ルービエ (Randy Loubier)

1958年、アメリカ合衆国ニューイングランド生まれ。父親から自立したビジネスパーソンになることを早くから教え込まれ、10歳の頃から有給で働くようになった。高校卒業後、一年間大学に通い、その後アメリカ空軍に入隊。コロラド、日本の三沢(1978-80年)、ニューメキシコの基地に駐留。除隊後、ニューメキシコ大学でファイナンスの学士号を取得した。最初の仕事は、カリフォルニアのAT&Tで財務アナリストとなり、同社で最も若い部門コントローラーの一人となった。同時にゴールデンゲート大学でファイナンスの経営学修士号(MBA)も取得。その後、ブルッキングス研究所のフェローやワシントンDCの下院議員の経済アドバイザーを一年間務めた。1993年、Atomic USA社の最高財務責任者(CFO)となる。その後、いくつかの企業でCFO、COO、CEOを歴任し、2012年に妻とともに高齢者向け在宅介護サービス会社360SHSを起業した。現在、ランディと妻のジュディーには、6人の子どもと5人の孫がいる。ニューハンプシャー州ニューボストンの田舎町に住み、地元の教会で牧師を務めながら、執筆活動や、日本庭園と茶室で過ごす時間を楽しんでいる。

「百万人の福音」人気連載 単行本化
—— “人生の秋” は贈り物



女性のを生きる 二人の往復書簡

豊田かな、大嶋裕香 著

人生の「秋」。
実りの「秋」であるとともに、
子どもの巣立ちや
親の看取り、自らの病など、
別れや喪失を経験していく季節。
神が与えてくれる
「秋」を、味わわずに過ごして
しまわぬように…。

B6判 128頁 定価1,320円(本体1,200円+税)
ISBN978-4-264-04506-9 C0016
いのちのことば社 卸コード 14905



聖書教養エッセー5

そうか、なるほどV 黙示録編

中島總一郎 著

クリスチャンにも敬遠されがちな黙示録は、全体を眺め、要点を絞って読み進め理解すると、私たちに導きと助けを与え、励ましてくれる書である。その楽しみを、神の国が出現してくることへ向かって、日常的な表現でエッセー風に叙述した、好評シリーズ最終巻。

B6判 304頁 定価2,420円(本体2,200円+税)

ISBN978-4-264-04502-1 C0016

いのちのことば社 卸コード 18025